



図書館だより 4月

四日市メリノール学院図書館

新年度がスタートしました。コロナ感染症が流行して3度目の春です。今、世界ではロシアとウクライナの戦争が報じられています。また、国内ではコロナ感染症だけでなく、物価の上昇が相次ぎ、日常生活にも不安なことが続いています。世界の出来事、身の回りの出来事にちょっと目を向けてみましょう。

皆さんは図書館というと、「本を読むところだから、本を読まない自分とは関係ないところ」と思っていないですか？自習の場所になっている学校もあります。でも、メリノールの図書館は、進路資料室も兼ねているので、いろいろな人が利用します。本を読みたい人はもちろん、進路について大学や専門学校・就職について調べたい人、一人静かに過ごしたい人が訪れる場所でもあります。新入生のみなさんは、ぜひ足を運んでみてくださいね。

今月のおススメ

『民王 シベリアの陰謀』 池井戸 潤 / 著 KADOKAWA/刊

毎月、図書館の蔵書から本を紹介していきます。今回紹介する本は、ドラマ「半沢直樹」や「ノーサイドゲーム」等の原作者でもある池井戸潤の作品です。「民王」もドラマになりました。書名を見ただけで、少し心惹かれませんか？主人公は、内閣総理大臣 武藤泰山。出版されたのは半年ほど前ですが、謎のウィルス感染が流行し…、という内容は現在の状況に似たところもあり、どんな話の展開になるのか楽しみです。「半沢直樹」では、銀行業界が描かれていましたが、こちらは政治の世界が描かれています。取り扱っている業界は、とっつきにくいかもしれませんが登場人物のキャラクターがそれぞれ個性的なので、楽しく読めると思います。ゴールデンウィークもありますので、ぜひ時間をかけて読んでみてください。



保護者の方々へ 保護者の方も是非、メリノールの図書館を利用してください。

お子さんを通じて貸出可能です。貸出期間は2週間です。購入リクエストがあれば、中・高校生でも読める本をリクエストしていただくと嬉しいです。

本を通じて親子のコミュニケーションを図りませんか？